

6月9日 木曜日

©陸奥新報社2022

THE MUTSU SHIMPO

陸奥新報

のまち 地域ワイド

世界自然遺産白神山地の自然素材を使ったアロマ開発を手掛けている、鱒ヶ沢町一ツ森町の合同会社白神アロマ研究所(白神自然学校一ツ森校内)が、世界文化遺産北海道・北東北の縄文遺跡群を題材とした「縄文アロマ」と「縄文草木染

め」「縄文土偶シール・ステッカー」の3商品を開発・製造し、5月から販売している。永井雄人代表社員は「自然と文化の二つの世界遺産があるのは本県のみということを知ってもらいたい」と狙いを話した。(下山高秋)

白神アロマ研究所が縄文題材に3商品開発

二つの世界遺産知って



縄文土偶シール・ステッカー(左)と縄文アロマ(中央)、縄文草木染め

草木染めやアロマなど

鱒ヶ沢

白神山地と、三内丸山遺跡(青森市)に代表される縄文遺跡群。この二つの共通点が「世界遺産」だ。普段は白神をテーマ・素材に商品開発を手掛ける研究所が、縄文関連商品製造に着手した理由がそこにある。

縄文時代には三内丸山遺跡が所在する場所にスギの木が生えていたことに着想を得た縄文アロマは、いずれもスギの成分50%以上の「土」(税込み30800円)と「火」(同28600円)の2種類。「土」はレモンやユズなどの成分を配合し、土の香りとともにあった縄文をイメージした。「火」はオレレンジやゼラニウムなどの成分を加え、縄文の生活を明るく照らす炎を表現した香りだ。いずれ

も2リットル入り。アロマを垂らし、その香りを伝えるスギ製の置台・ディフューザーが付く。

縄文草木染めは、三内丸山遺跡にスギの木があった由来に加え、縄文時代にくりが栽培されていたことから着想を得て、スギとクリの木を材料とした商品。スギの成分を使った商品は淡いベージュ色、クリは黒っぽい色合いに仕上げた。税込み価格でハンカチ990円、絹ストール6270円など。

シール・ステッカーは、もともと自然学校を訪れた児童に進呈していた直径1・5センチほどのものが好評で、「もっと大きな物が欲しい」という要望を受けて作成。ステッカーは亀ヶ岡石器時代遺跡(つがる市)の遮光器土偶と三内丸山遺跡の板状土偶、風張1遺跡(八戸市)の合掌土偶の3種類の顔面部分。シールはA4判に3土偶の全身像が印刷されている。

津軽地方の販売場所は、鱒ヶ沢町の白神自然学校一ツ森校と青森市のあおもり

北彩館三内丸山店、県観光物産館アスパム物産コーナー。問い合わせは研究所(80173)☎7057、毎月、火曜日休み)へ。